

神栖市地域医療体制

医療機関意識調査 集計報告

令和2年1月

株式会社システム環境研究所

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この医療機関意識調査は、市内に所在する医療機関を対象に実施し、現在提供している医療機能や他施設との連携、今後の展望等についてお伺いしています。

これにより、市民の皆様が健康かつ安全・安心な生活を送っていただくための施策の一環として「神栖市地域医療体制」を検討することを目的に実施するものです。

(2) 調査の方法

1調査対象者	神栖市に所在する医療機関32施設
2標本数	32施設
3抽出方法	全施設に調査を依頼
4実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票の設計：令和元年11月 ・調査の実施：令和元年11月28日（木）～令和元年12月12日（木） （回収期限 令和元年12月24日） ・集計分析：令和元年12月～令和2年1月
5配布回収方法	郵送配布・郵送回収
6実施主体	神栖市健康福祉部地域医療推進課

(3) 回収結果

総回収数	23票
有効回収数	23票
有効回収率	71.9%

I. 基本情報

- 問1 貴院の名称・所在地・担当者について
- 問2 病床数
- 問3 1日あたり患者数
- 問4 標ぼうしている診療科
- 問5 職員数

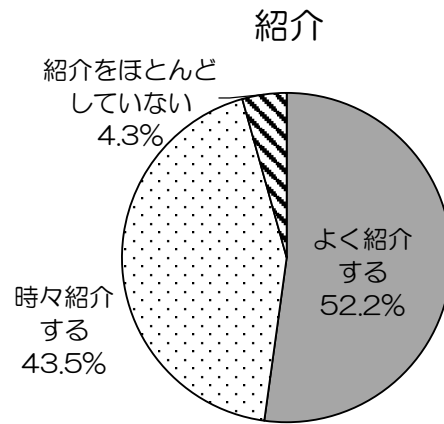
問2～問5について、別紙参照

Ⅱ. 他院との連携について

問6 他の医療機関との連携（紹介）についてお答えください。

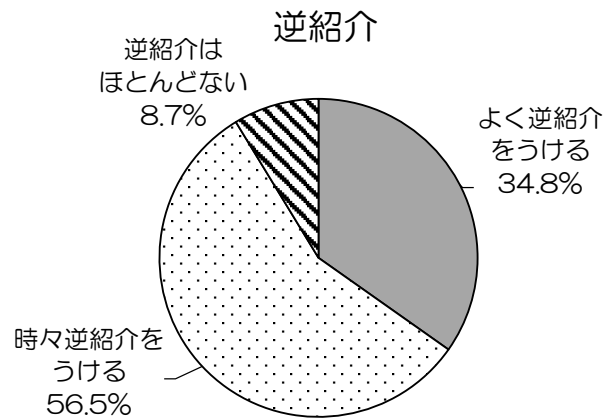
選択項目	回答数	構成比
1 よく紹介する	12	52.2%
2 時々紹介する	10	43.5%
3 紹介をほとんどしていない	1	4.3%
計	23	100.0%
無回答	0	
無効回答	0	
総計	23	

※ 無効回答とは、指定数をこえる回答または指定された条件以外の回答のことである。



問7 他の医療機関との連携（逆紹介）についてお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1 よく逆紹介をうける	8	34.8%
2 時々逆紹介をうける	13	56.5%
3 逆紹介はほとんどない	2	8.7%
計	23	100.0%
無回答	0	
無効回答	0	
総計	23	

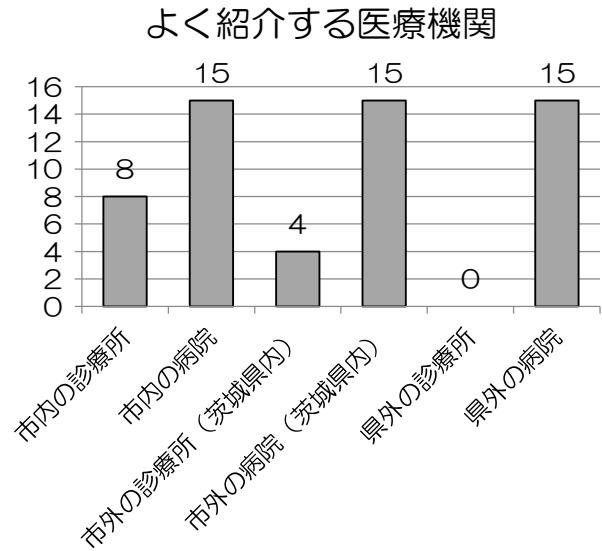


複数回答項目

問6で「1」～「2」を選んだ施設のみ解答(指定された条件以外の回答は数に反映しない)

問8 貴院から患者を紹介する場合に、よく紹介する医療機関をお聞かせください。

選択項目	回答数	構成比
1 市内の診療所	8	36.4%
2 市内の病院	15	68.2%
3 市外の診療所(茨城県内)	4	18.2%
4 市外の病院(茨城県内)	15	68.2%
5 県外の診療所	0	0.0%
6 県外の病院	15	68.2%
計	57	
回答者数	22	
無回答	1	
無効回答	0	
総計	23	



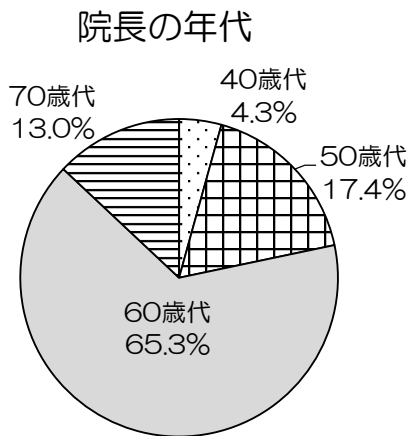
(参考) よく紹介する医療機関

施設名	回答数	構成比	内科	耳鼻	精神	小児	形成	整外	外科
1 神栖済生会病院	16	25.3%	3			1	1		1
2 旭中央病院	13	20.6%	1	1		1			
3 白十字総合病院	9	14.3%	3						
4 小山記念病院	9	14.3%	1					1	
5 東京医大茨城医療センター	4	6.3%		1					
6 土浦協同病院	3	4.8%							
7 香取おみがわ医療センター	2	3.2%							
7 成田赤十字病院	2	3.2%		1					
9 内田病院	1	1.6%							
9 鹿島病院	1	1.6%			1				
9 みやざきホスピタル	1	1.6%			1				
9 鹿嶋ハートクリニック	1	1.6%							
9 アントラーズスポーツクリニック	1	1.6%							
計	63	100.0%	8	3	2	2	1	1	1

Ⅲ. 医師の確保について

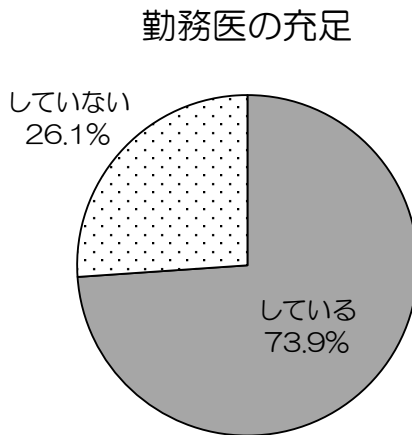
問9 院長の年代を教えてください。

選択項目	回答数	構成比
1 30歳代	0	0.0%
2 40歳代	1	4.3%
3 50歳代	4	17.4%
4 60歳代	15	65.3%
5 70歳代	3	13.0%
6 80歳代以上	0	0.0%
計	23	100.0%
無回答	0	
無効回答	0	
総計	23	



問10 勤務医は充足していますか。

選択項目	回答数	構成比
1 している	17	73.9%
2 していない	6	26.1%
計	23	100.0%
無回答	0	
無効回答	0	
総計	23	

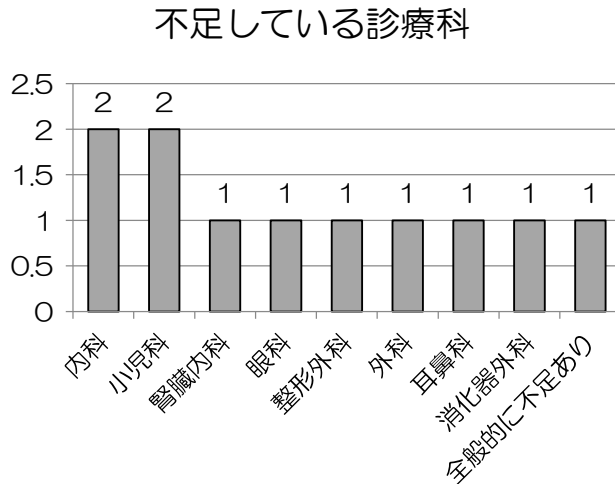


複数回答項目

問10で「2」を選んだ施設のみ解答(指定された条件以外の回答は数に反映しない)

問11 不足している診療科はどの科ですか。

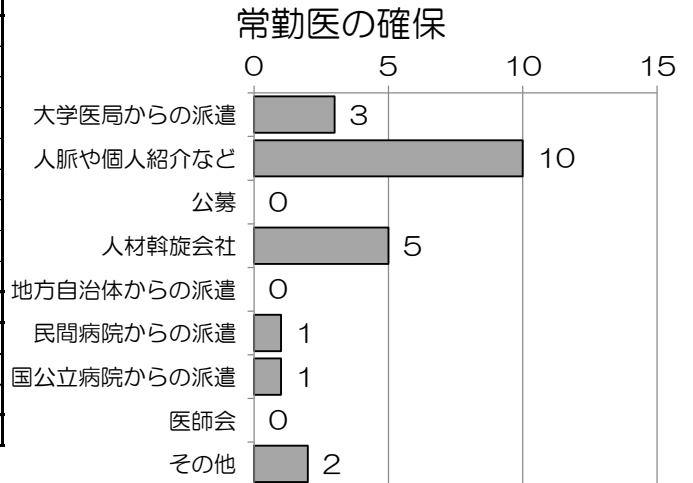
選択項目	回答数	構成比
1 内科	2	40.0%
2 小児科	2	40.0%
3 腎臓内科	1	20.0%
4 眼科	1	20.0%
5 整形外科	1	20.0%
6 外科	1	20.0%
7 耳鼻科	1	20.0%
8 消化器外科	1	20.0%
9 全般的に不足あり	1	20.0%
計	11	
回答者数	5	
無回答	1	
無効回答	0	
総計	6	



複数回答項目

問12 勤務医をどのように確保していますか。

選択項目	回答数	構成比
1 大学医局からの派遣	3	21.4%
2 人脈や個人紹介など個人的関係	10	71.4%
3 公募	0	0.0%
4 人材斡旋会社	5	35.7%
5 地方自治体からの派遣	0	0.0%
6 民間病院からの派遣	1	7.1%
7 国公立病院からの派遣	1	7.1%
8 医師会	0	0.0%
9 その他	2	14.3%
計	22	
回答者数	14	
無回答	9	
無効回答	0	
総計	23	

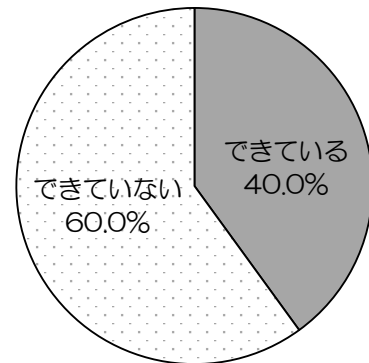


問2で病床数を記載した施設（入院病床を持つ施設）のみ解答（指定された条件以外の回答は数に反映しない）

問13 標ぼうしている診療科全てに常勤医を配置できていますか。

選択項目	回答数	構成比
1 できている	2	40.0%
2 できていない	3	60.0%
計	5	100.0%
無回答	0	
無効回答	0	
総計	5	

標ぼう診療科への常勤医配置

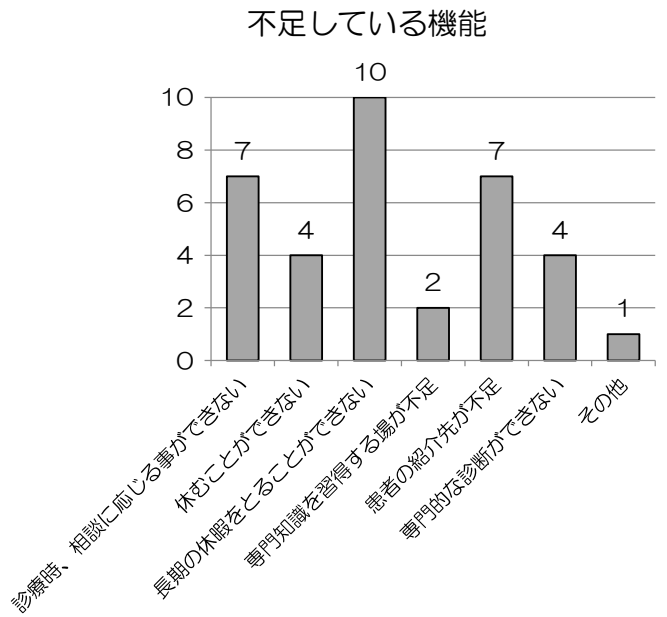


IV. 解決したい課題・問題

複数回答項目

問14 現在、貴院において特に不足していると感じている機能はありますか。

選択項目	回答数	構成比
1 忙しくて診療時にゆっくり相談に応じる事ができない	7	46.7%
2 医師や看護師が休むことができない	4	26.7%
3 医師や看護師が長期の休暇をとることができない	10	66.7%
4 医師や看護師が専門知識を習得する場が不足している	2	13.3%
5 患者の紹介先が不足している	7	46.7%
6 専門的な診断（画像や病理）を行うことができない	4	26.7%
7 その他	1	6.7%
計	35	
回答者数	15	
無回答	8	
無効回答	0	
総計	23	



その他意見

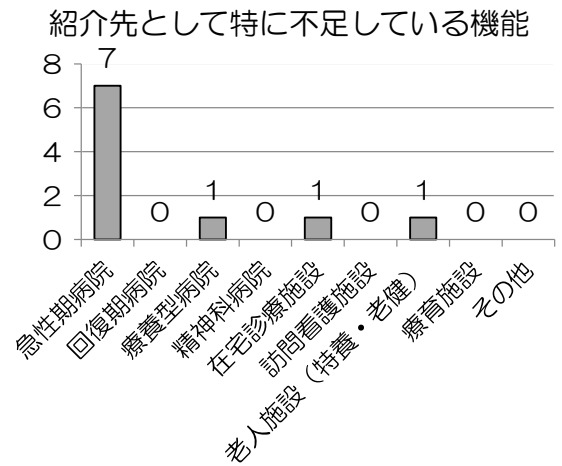
- ・ スタッフの人材不足

複数回答項目

問14で「5」を選んだ施設のみ解答(指定された条件以外の回答は数に反映しない)

問15 紹介先として、特に不足していると感じる機能はありますか。

選択項目	回答数	構成比
1 急性期病院	7	100.0%
2 回復期病院	0	0.0%
3 療養型病院	1	14.3%
4 精神科病院	0	0.0%
5 在宅診療施設	1	14.3%
6 訪問看護施設	0	0.0%
7 老人施設（特養・老健）	1	14.3%
8 療育施設	0	0.0%
9 その他	0	0.0%
計	10	
回答者数	7	
無回答	0	
無効回答	0	
総計	7	



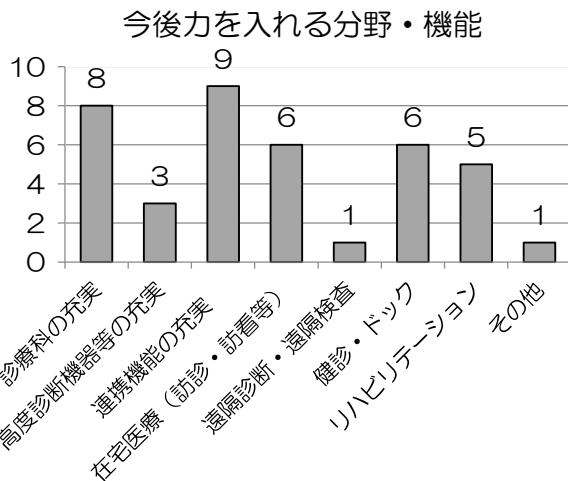
問16 紹介先でお困りのことはありますか。

- ・ 児童精神、発達障害の専門医が少ない
- ・ 入院が必要なケースを紹介しても対応できないと断られることがある。
- ・ 手術・入院・救急の引き受け先が無い
- ・ 紹介先まで遠い。入院が必要な状態でも、午後や17時以降は受け入れ先を見つけるのに長時間を要する。
- ・ 土曜日、日曜日の急性疾患に対し、受け入れを断られる事が多いので困っています。
- ・ 整形外科で手術奨励の紹介先が近くにない

複数回答項目

問17 今後力を入れる分野・機能はありますか。

選択項目	回答数	構成比
1 診療科の充実	8	47.1%
2 高度診断機器等の医療機器の充実	3	17.6%
3 連携機能の充実	9	52.9%
4 在宅医療（訪問診療・訪問看護等）	6	35.3%
5 遠隔診断・遠隔検査	1	5.9%
6 健診・ドック	6	35.3%
7 リハビリテーション	5	29.4%
8 その他	1	5.9%
計	39	
回答者数	17	
無回答	6	
無効回答	0	
総計	23	



その他意見

- 救急体制の充実

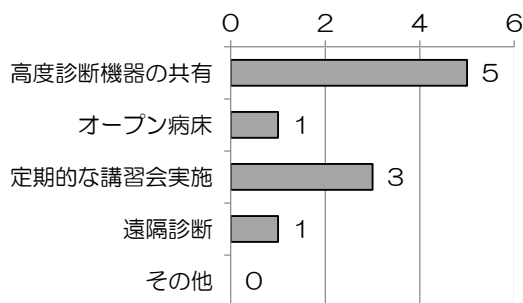
複数回答項目

問17で「2」～「3」を選んだ施設のみ解答(指定された条件以外の回答は数に反映しない)

問18 他施設との連携としてお考えの機能はありますか。

選択項目	回答数	構成比
1 CTなどの高度診断機器の共有	5	55.6%
2 オープン病床	1	11.1%
3 定期的な連携先との講習会実施	3	33.3%
4 遠隔診断	1	11.1%
5 その他	0	0.0%
計	10	
回答者数	9	
無回答	1	
無効回答	0	
総計	10	

他施設連携として考える機能



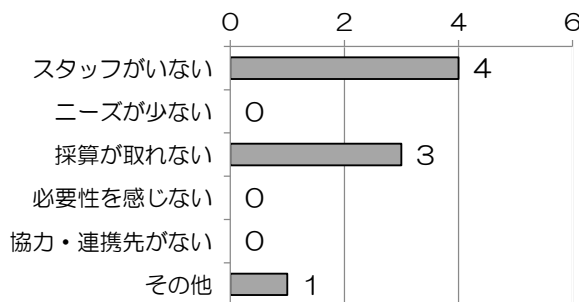
複数回答項目

問17で「4」を選んだ施設のみ解答におたすねします。(指定された条件以外の回答は数に反映しない)

問19 在宅医療を実施するにあたって、課題となることをお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1 スタッフがいない	4	66.7%
2 ニーズが少ない	0	0.0%
3 採算が取れない	3	50.0%
4 必要性を感じない	0	0.0%
5 協力・連携先がない	0	0.0%
6 その他	1	16.7%
計	8	
回答者数	6	
無回答	0	
無効回答	0	
総計	6	

在宅医療を実施するうえでの課題

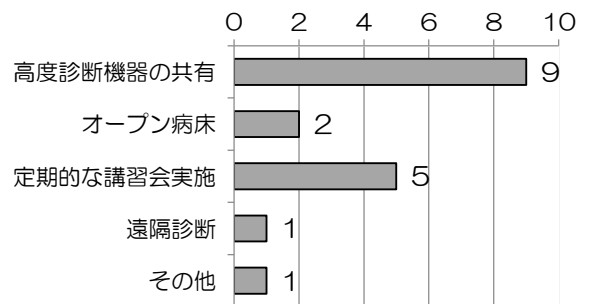


複数回答項目

問20 貴院の課題解決のために、他施設の連携機能で利用したい機能はありますか。

選択項目	回答数	構成比
1 CTなどの高度診断機器の共有	9	69.2%
2 オープン病床	2	15.4%
3 定期的な連携先との講習会実施	5	38.5%
4 遠隔診断	1	7.7%
5 その他	1	7.7%
計	18	
回答者数	13	
無回答	10	
無効回答	0	
総計	23	

他施設の連携機能で利用したい機能



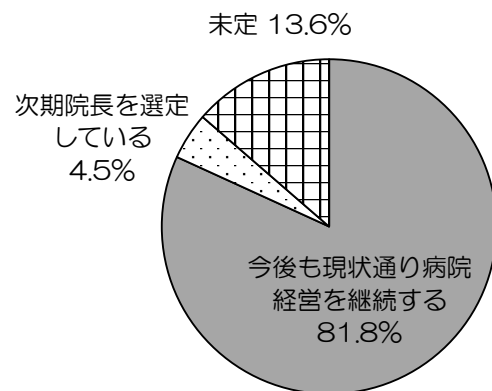
その他意見

- ・ 救急入院、手術の受け入れ

問21 経営計画について教えてください。

選択項目	回答数	構成比
1 今後も現状通り病院経営を継続する	18	81.8%
2 次期院長を選定している	1	4.5%
3 今後の病院経営は未定	3	13.6%
4 経営主体もしくは経営形態を変更する予定である	0	0.0%
5 閉鎖の予定である	0	0.0%
6 その他	0	0.0%
計	22	100.0%
無回答	1	
無効回答	0	
総計	23	

今後の経営計画について



神栖市の医療体制検討に関するご意見やご要望・ご提案

病院	医師をはじめ、医療従事者確保の為、当院としてできる事、地域として取り組む事、それぞれ前向きに考えていきたいと思えます。
病院	医師をはじめ、医療技術者の安定した確保に向けた具体的施策をより見える形で市民にも示していただき、市全体として盛り上げていければありがたい。
病院	慢性期病院における医師・看護師・介護者の採用は非常に困難な状況となっています。何らかの補助制度や支援を期待します。（急性期病院の後方支援となる慢性期病院の体制が整備されていない場合、急性期病院の病床コントロールに悪影響を及ぼす可能性があります。）
診療所	労災病院跡地にこだわらず、現状の医療機関へ出向しているスタッフの家族が定住しやすい文化度と教育が存在する街作りを10年単位で構築しないと、今より医療過疎になります。
診療所	整形外科の充実が必要
診療所	診療科の集約化、病床、人員の融通と教育
診療所	昨年参加した在宅医療グループ化事業は終了したのか、継続しているのかよくわかりません。若手医師きらせプロジェクトもよくわからないので、教えてほしいです。「誰が、何を、何の為にしているのか」よくわからないまま昨年が過ぎ今年になりました。協力をしたいと思っても、内容がよくわかりません。
診療所	基幹病院の充実
診療所	三次救急体制の確立
診療所	神栖市は旧神栖町の発展に比べ、旧波崎町が遅れている。高齢化も激しいが、交通の便もかなり不便で人の流れが止まっている。高齢者が元気に動けるような街づくりを希望します。

神栖市の医療体制についてご意見やご要望

病院	地域住民の皆様のニーズにしっかりと応じられる病院づくりを進めてまいります。引き続き、ご支援をよろしくお願い致します。
病院	市を維持発展するために医療体制の充実は不可欠ですので、関係各所が今以上に協力して前に進められたらと思います。
診療所	厳しい医療環境にあることは事実であり、できることから一歩ずつ進むしかない。
診療所	整形外科の充実が必要
診療所	医療施設間共通の診察券（ICチップ付）を発行し、患者データは市にて保管
診療所	更生医療の受給者証の事務（障害福祉課）がスムーズにいかず、困ったことがありましたので、担当者の方が長期不在であれば、別の方が事務を担当してくださるよう希望します。入院の必要な患者さんを市内の病院が受け入れられる状況となってくださることを希望します。県外の病院にもたくさん患者さんを紹介しています。神栖市としても協力を要請してくださると助かります。
診療所	診療所では対応できない急性疾患を受け入れてくれる病院が確立していたら大変助かります。受け入れ先を探すのに、難渋する事がしばしばあります。
診療所	常勤の眼科医が病院に勤務している体制があると、患者さまが遠方まで行かなくて済みますので、ありがたいです。神栖には0名です。
診療所	独自の福祉を展開できる財力を、福祉だけでなく医療（住民が安心して住んでいられる体制）にも投入して頂けるとありがたいです。急性期～慢性期～在宅へと、継続して医療が提供していける優しい街づくりを願っています。